

ニュースレター

神奈川県臨床細胞学会
第 35 号 令和 3 年 7 月 20 日発行

第 37 回神奈川県臨床細胞学会学術集会主催のご報告

聖マリアンナ医科大学産婦人科学 戸澤晃子

去る平成 30 年 10 月 6 日、秋の気配が漂う土曜の昼下がり、第 37 回神奈川県臨床細胞学会学術集会が新百合丘ホテルモリノ「ひのき」で開催されました。会長は鈴木直先生、実行委員長に戸澤晃子、また東京都予防医学協会検査研究センター長（現在は学術顧問）、聖マリアンナ医科大学産婦人科学客員教授の木ロー成先生に顧問をお務めいただき、滞りなく開催することができました。

学会参加者は神奈川県内の同窓会の先生方にもご参加いただき、188 人とこれまでの同学術集会では異例の参加数で多くの医師、検査技師の皆さんに参加していただきました。教育講演では婦人科病理学の熊本大学病理診断科 三上芳喜先生（本学病理学教室客員教授）に教育講演「子宮頸部腫瘍の病理と細胞診ー最近の概念と問題点」にてご講演を賜り、教育セミナーでは聖マリアンナ医科大学西部病院病理診断科の安田玲子先生から婦人科領域ではあまり知られていない「当院における ROSE の現状（迅速細胞診断）」で見聞を深めました。顕微鏡から見える細胞の世界は鮮やかで趣深く、改めて形態学の面白さと奥深さを認識した一日となりました。総演題 8 題、スライドカンファレンス 3 題、学会後の情報交換会まで盛況に終わりました。本学術集会を開催するにあたり、ご支援いただきました神奈川県臨床細胞学会の皆様にご心より御礼申し上げます。



